

巻頭言

「新しい田原本の3つの未来」
の実現にむけて

田原本町長
奈良県国民健康保険団体連合会理事

森 章 浩



田原本町は、奈良盆地の中央に位置し、歴史の国、大和の中でもっとも早くから拓けたところで、近年では田原本駅及び西田原本駅を中心に市街地が形成され、その周辺に田園が広がる自然豊かなまちです。また、鉄道により奈良市や大阪、京都へ1時間以内アクセスでき道路網とともに交通利便性の高いまちです。

こうしたなか本町では、「新しい田原本の3つの未来」をまちづくりのコンセプトとして、その実現に向けた取り組みを行っています。

最初に、一つめは「子育てしやすい未来を創る」であり、修学前教育の充実、認定こども園の整備、幼稚園の預かり保育・学童保育の拡充、中学校給食の早期実施、医療費の無料化を中学生までに拡充するという施策に取り組んでいます。

次に、二つめの「住み続けたい未来を創る」として、働き続けられる環境の確保、駅周辺の活性化、企業誘致の

環境整備、田原本ブランドの構築を推進しています。

最後の三つめ「安心して暮らせる未来を創る」では、健康寿命の延伸、防災機能の強化、道路等交通インフラの整備、安全箇所の確保、通学路の整備についての施策を行っています。

また、住民の方の、健康づくり支援等として、がん検診の受診率向上や、生活習慣病予防のための知識の普及・啓発などの充実を図るとともに、国民健康保険並びに後期高齢者医療制度では本町が5年前から実施しています主治医と県立医大病院の腎臓専門医との連携による重症化予防対策事業を初め、特定健康診査、特定保健指導、人間ドック・脳ドックの助成等を継続して行い、今以上に予防医療の充実を図っていきます。

